



QRコードの活用

QRコードの利用場面

チラシやポスターに関連したホームページ閲覧

お店で売られている商品の情報や生産者の情報などを確認

コンサートやイベントなどの電子チケット

レジでの電子決済

LINEの友だち追加

テレビ番組の補足情報をホームページで確認

QRコードとは

- QRコードは、大手の自動車部品メーカー「デンソー」が工場での部品管理のために開発したものの。これを、**誰でも無償で利用できる**ようにしたことから普及している。
- 従来のバーコードに比べて扱える情報量が多く、英数字だけでなく、**URLアドレス**や**メールアドレス**等の情報を埋め込むことができる。
QRコードには、数字のみなら最大7,089文字、**英数なら最大4,296文字**の情報量を扱うことができる。

QRコードの読み取り

- スマホでQRコードを読み取るには、最近のスマホはカメラにその機能が備わっているので写真を撮るようにQRコードにかざしてみると読み取る。
- もし、その機能がなければ、ストアで検索してQRコードを読み取るアプリを追加
- パソコンで利用するには、アプリをインストールするか、クラウドサービスを利用

アプリの例

クラウドサービスの例

QRコードの作成方法

- QRコードを作成するには、クラウドサービスを利用するのが簡単です。
例えば、このようなサービスがあり、無料で手軽に使えます。ホームページのURLやメールアドレスをQRコードにできます。

クラウドサービスの例

- ホームページのアドレス(URL)のQRコードを作成するのは、ブラウザーのChromeでできます。

Chromeで作成する手順

ChromeでQRコードを作成

「このページのQRコードを作成」

アドレス欄をクリック

QRコードのスクリーンショット

http://www.seniornet-hiroshima.gr.jp/

ダウンロード